



のう しゅっ けつ 脳出血

脳出血(脳内の動脈が破れる)は、やがて血腫となり、脳浮腫をおこし、頭痛、嘔吐、手足の麻痺、意識障害が起こります。原因は主に、生活習慣病(高血圧・脂質異常症・糖尿病など)による動脈硬化から、高血圧が持続し、血管が破綻した状態です。

ここでは高血圧による脳実質内
出血した脳出血を
お話します。



【病因】

高血圧性脳出血

好発部位は大腦半球で、被殻出血が約3割を占める。高血圧の持続により、多発性の小動脈瘤が形成され、急激な血圧上昇が加わると血管が破綻する。

【症状】

病巣部位の症状

出血部位により異なる。

被殻出血は片麻痺、病側への共同偏視、

視床出血は、被殻出血の症状+縮瞳、

皮質下出血は、場所によって症状が違う、

橋出血は、四肢麻痺、縮瞳、

小脳出血はめまい、嘔気などそれぞれの症状が出現する。

間接症候

意識障害、頭痛、めまい、吐き気、嘔吐などを認める。



【検査】

CT検査 血腫は発症直後から高吸収域として描出でき、慢性期には低吸収域となる。

【治療】

超急性期

意識レベルの観察、発症6時間以内は、血腫増大の可能性がある。

血圧管理、脳浮腫改善薬・止血薬・脳保護薬・脳代謝薬・抗潰瘍薬など

外科治療 開頭血腫除去術やCTガイド下の定位血腫吸引術を行い、頭蓋内を占拠した血腫を除去

急性期～慢性期

降圧療法、褥瘡予防、早期リハビリテーション

【予防】

高血圧症の治療 塩分制限 6g/日未満、減量 BMI25未満

動脈硬化の進行を遅くするため、生活習慣の改善を行う 脂質異常症の治療

脳のMRI検査 脳動脈硬化症の所見を調べる



【後遺症】

軽症、中等度、重症に分かれ、脳出血が発生した部位や範囲、年齢、健康状態に左右される麻痺、手足のしびれ、言語障害、記憶力障害、感覚障害など様々な障害が残る可能性がある

InstagramのQRコードです

次回は
くも膜下出血
です

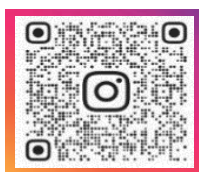


ホームページのQRコードです

年に一度は健診を受けましょう!

健康診断

自分のため、家族のために
早期発見!



@KAGAWA_CLINIC

フォローお願いします!

当院の情報は
ホームページからご覧頂けます。



医療法人社団 清明会
かがわクリニック



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
15:00~18:00	○	○	×	○	○	×	休診

* 受付は15分前までにお願いします

かがわクリニック

検索

☎ 0790-43-8887

〒675-2322 兵庫県加西市北条町西高室
595-11